



撮影可能
No Flash Photography Allowed

未来を育てる

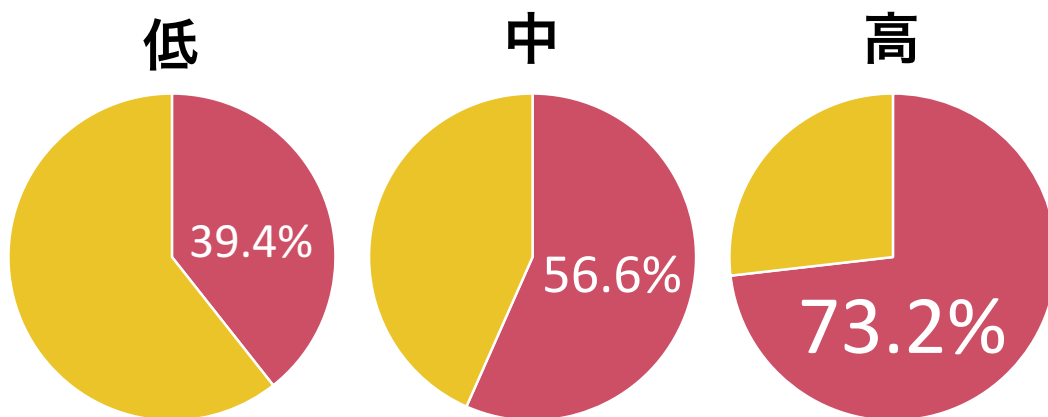
アジラホ

ひとはもともとアクティブ・ラーナー!

データから考える人づくり:

勘と経験と気合い(3K)にたよらないカリキュラムマネジメント

アクティブラーニングを「面=組織ぐるみ」で行うことの重要性



- カリキュラム・マネジメントできている (=教育課程や授業内容の評価・改善に組織的に取り組んでいる) 学校の方が、アクティブラーニングの実施率が高い

アクティブラーニングの「教育論」から「組織論」へ
「点」から「面」へ

でもさ・・・具体的には、何をしてけばいいの？

カリキュラムマネジメントとは・・・

わたしの言葉でいえば・・・

- ①自校の現状を「見える化」して
- ②自校ならではの「教育改善」を
- ③自校の仕組みで、くるくる回していくこと

とにもかくにももっとも大切なのは・・・

「見える化＝データに基づくこと」

こんなカリキュラムマネジメントはいやだ

reserved.



こんなカリキュラムマネジメントは嫌だ！」

3Kである

Copyright(C) Jun Nakahara, All rights reserved.



こんなカリキュラムマネジメントは嫌だ！」

3Kである

勘と経験と気合い

Copyright(C) Jun Nakahara, All rights reserved.



こんなカリキュラムマネジメントは嫌だ！」

IABである

Copyright(C) Jun Nakahara, All rights reserved.

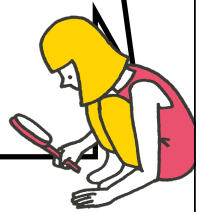


こんなカリキュラムマネジメントは嫌だ！」

IABである

行き当たりばったり

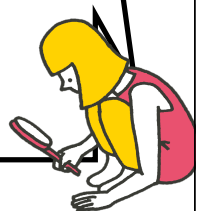
Copyright(C) Jun Nakahara, All rights reserved.



こんなカリキュラムマネジメントは嫌だ！」

YKSと言われる

Copyright(C) Jun Nakahara, All rights reserved.

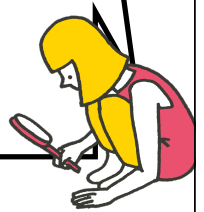


こんなカリキュラムマネジメントは嫌だ！」

YKSと言われる

やったことにしといて、といわれる

Copyright(C) Jun Nakahara, All rights reserved.

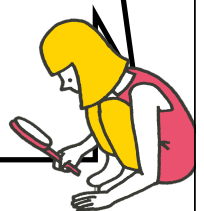


カリキュラムマネジメントの要諦
「見える化ー改善ーくるくる」
もっとも重要なのは「見える化」

データに基づく
カリキュラムマネジメント

Evidenced-based Curriculum Management

国の流れも
Evidence-based Policy Makingの時代
(エビデンスに基づく政策立案)

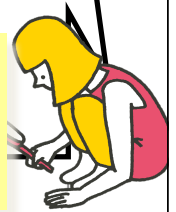


大学では・・・

IR (Institutional Research)

学習成果をデータとして「見える化」して
大学経営、教育課程の質向上をめざすこと

この高校版「**高校IR**」が求められる
= Evidence Based Curriculum Management



今日の話提供

- 桐蔭学園 教育企画室 IRオフィス
川妻 篤史先生
登本 洋子先生
- ご講演内容は・・・
 - アクティブラーニングを先導する
桐蔭学園
 - カリキュラムマネジメント(IR)
も先導
 - データに基づくIRを推進
- 気をつけたいのは事例くれくれ君
 - ベストな事例=こんなのここだからできるんだ
 - ベターな事例=もっとすごいのないの？
- 事例のエッセンスをとりだし
自校に活かす視点

登本 洋子
川妻 篤史

シンポジウム開催中、どんな質問でも
携帯メールでお寄せ下さい！
宛先は aa@nakahara-lab.net です



aa@nakahara-lab.net

ご意見・ご感想をお寄せください！
皆さんからお寄せいただいた質問で、数が多かったものを
講演者、パネリスト等に、後でお答えいただきます

Copyright(C) 2007 Jun Nakahara, All rights reserved.

13

今日の話提供

- 桐蔭学園 教育企画室 IRオフィス
川妻 篤史先生
登本 洋子先生
- ご講演内容は・・・
 - アクティブラーニングを先導する
桐蔭学園
 - カリキュラムマネジメント(IR)
も先導
 - データに基づくIRを推進
- 気をつけたいのは事例くれくれ君
 - ベストな事例＝こんなのここだからできるんだ
 - ベターな事例＝もっとすごいのないの？
- 事例のエッセンスをとりだし
自校に活かす視点

登本 洋子
川妻 篤史

Copyright(C) 2017 Jun Nakahara, All rights reserved.

14